

様式 4

平成 3 1（令和元）年度 第 2 回学校関係者評価報告書

鳥取県立米子西高等学校

校長 富田 運一

評 価 日	令和 2 年 2 月 7 日（金）	
	評 価 ・ 提 言	学校の所見・改善策等
1 今年度の自己評価について		
(1) 重点目標の達成状況	・「みらいチャレンジ活動」成果発表会を見て質が向上し課題―検証の形が出来てきた。キャリアパスポート導入の参考になった。 ・生徒アンケートにおいて「意欲的に授業に取り組んでいる」が 70%であるが、「みらいチャレンジ活動」の広義の学力・探究心を問う項目が必要ではないか。 ・進路指導において、目標値を下方修正したにも関わらず、目標達成が困難である原因を分析する必要がある。	・米子市と「『ふるさと教育』における連携に関する協定」を締結した。今後、地域の課題に係る探求的な活動の充実を図る。 ・「みらいチャレンジ活動」は、2 年生のみの活動であり、その学力を問うことは困難である。 ・進路目標を定め、進路意識を高めるきっかけとするために、来年度は大学等の合同説明会である「夢ナビライブ」へ参加する。
(2) 説明・公表について	特になし	
2 今年度の県立学校裁量予算による特色ある学校運営 の状況について	・大学入学共通テストに向けた英語力向上の取組みはなされているか。	・大学入学共通テストへの英語民間検定の活用は延期となったが、私立大学等で利点があるため今後も授業等において英検受験講座を充実させ、外部試験への対応を図る。受験者数は増加したが、2 級へのチャレンジ精神はまだ低い。
3 取組改善のための提言	・「みらいチャレンジ活動」の発表は、パワーポイントのみであるが、課題を引き継いでいくことで積み上げが可能になる。成果資料として紙ベースで作成する必要があるのではないか。また、パワーポイントに生徒自身の失敗談を加えると良い。	・来年度は冊子作成をし、一部のテーマは年度を超えて引き継ぐことを検討する。

--	--